

週刊 女川湾海況速報 (No.45)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

5 月 27 日から 5 月 31 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で上昇傾向。経時的には表層（0m）で 28 日まで上昇したが、それ以降は下降。底層（5m）では期間を通じて下降。塩分は先週と比較して全層で上昇。経時的には 31 日に表層で顕著な下降。この塩分の下降は降水の影響と推定。

水深 [m]	5月27日 (月)	5月28日 (火)	5月29日 (水)	5月30日 (木)	5月31日 (金)
0	13.9 (32.2)	14.6 (32.5)	14.4 (32.4)	13.1 (32.8)	11.3 (31.8)
5	10.9 (33.0)	9.9 (33.2)	9.7 (33.2)	8.9 (33.4)	8.2 (33.3)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位は PSU (実用塩分単位)。*30 日と 31 日は水深 6m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には 28 日に表層で、27 日、30 日及び 31 日に底層で高い値を示した。(単位は FTU)

水深 [m]	5月27日 (月)	5月28日 (火)	5月29日 (水)	5月30日 (木)	5月31日 (金)
0	1.8	2.0	1.2	1.1	1.4
5	2.1	1.0	1.1	2.3	2.4

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、8~10mg/l 台を示した。経時的には全層で 28 日に一旦下降したが、それ以降は上昇。31 日には底層で 10mg/l 台まで回復。

水深 [m]	5月27日 (月)	5月28日 (火)	5月29日 (水)	5月30日 (木)	5月31日 (金)
0	8.5	8.1	8.2	8.5	9.1
5	9.5	9.4	9.5	9.8	10.3

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 8.2~14.2℃、32.6~33.4PSU の範囲にあり、鉛直的には水深 0m と 5m の間に大きな水温勾配(5.4℃/5m)が発達。濁度は 0.5~1.5FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 8.6~10.6mg/l の範囲にあり、表層で最小。

5 月 30 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [PSU]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	14.2	32.6	1.2	8.6
5	8.8	33.4	0.5	10.1
10	8.2	33.3	0.5	10.4
15	8.3	33.4	1.3	10.6
19	8.2	33.4	1.5	10.6

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。